課題４－１　わたしたちの住むまちは，どんなまち？

１　わたしたちの住むまちの良いところはどんなところですか。

○自分たちの住むまちの良いところを自由に考えさせる。
　「緑豊かな土地」「おいしい魚がたくさんとれる」「交通の便がいい」・・・など。
○良いところがある半面，それに伴う危険もあることに気付かせる。
　山間部，沿岸部，平野部，埋め立て地，工場地帯などそれぞれに特有の危険がある。
○自分達のまちの良い点も，問題点も，十分に理解した上で生活していくことが大事であることに気付かせる。

２　「千葉県ハザードマップ」（千葉県 HP「千葉県防災ポータルサイト」に掲載）を見て，わたしたちの住むまちにはどんな災害の被害発生が予測されるのか考えてみましょう。

<table>
<tr><td colspan="2"></td><td>災害によってどんな被害が予測されるか調べてみましょう。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">・地震
（千葉県防災ポータルサイト）
http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/</td><td>想定震度分布</td><td rowspan="7">・具体的に，危険個所になっている地名を書き込んでもよいし，地域全体の傾向を書き込んでもよい。
・地域によっては，該当する危険個所がない場合もある。その際には，「該当箇所はなし」と記入させる。
・自分の住んでいる地域だけでなく，周辺部にも目を向けさせることも大切である。
・自分の住んでいる地域という狭い範囲では，全く危険個所がない場合もあるが，それで安心してしまってよいのかということも考えさせたい。
・危険個所のみでなく，防災拠点なども確認し，災害発生時のまちの様子を想像させる。</td></tr>
<tr><td>揺れやすさ</td></tr>
<tr><td>液状化</td></tr>
<tr><td>津波浸水</td></tr>
<tr><td colspan="2">・土砂災害（河川整備課・河川環境課）
http://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/kikenkasho/index.html</td></tr>
<tr><td colspan="2">・浸水想定区域（河川氾濫による浸水）
（河川整備課・河川環境課）
http://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/shinsui/index.html</td></tr>
</table>

３　予測される災害の被害について，わたしたちにできることは何ですか。

○災害発生時には，危険個所に近付かない。
○避難場所，避難所を確認する。
○避難経路を確認する。
○非常用品，防災用品を確認する。
○家族との連絡方法の確認をする。
○災害について学ぶ。　　など・・・。

防災学習の導入の段階であるので，自分達で気付いたことを自由に記述させ発表させる。災害時に，被害を最小限に抑えるためには，今できることがあることにきづかせたい。

４　歴史が教えてくれる災害への備え

災害には，埋め立て地特有のもの，干拓地特有のもの，盛り土区域の危険など，今の土地の表面的な様子を見ただけではわからない部分がある。過去の土地の様子や，過去にその土地で発生した災害などを知ることで必要な備えが見えてくる。過去の土地の様子については，古くからその土地に住む人に話を聞いたり，昔の地形図をみたり，郷土史などから知ることができる。また，昔の地名の由来から，当時の土地の様子を知ることもできる。テキストの資料には，「ちば地震被害想定のホームページ」内に過去の地図が見られる点を掲載したが，本課題の防災教育の導入であるため，調べてみようと投げかける程度でもよい。どのように扱うにしても，過去を知ることは，今の防災にとって非常に重要であることには触れるようにする。